



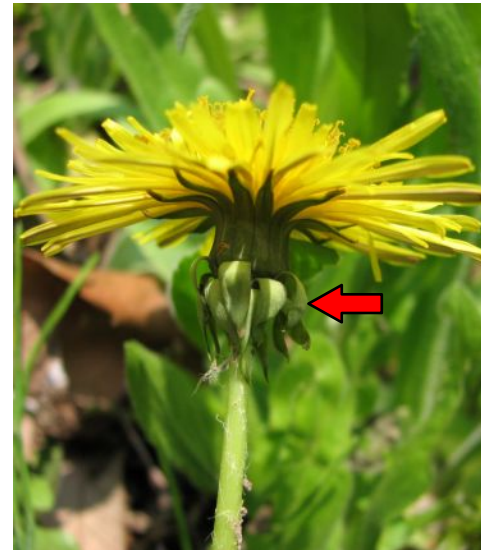
日本たんぽぽ（えぞたんぽぽ）

（2003年5月13日 撮影）

街^{まち}でよく見る^みタンポポは、ほとんどが明治^{めいじ}ごろに日本^{にほん}にやってきた「セイヨウタンポポ」です。

セイヨウタンポポは開発^{かいはつ}された土^{つち}でもよく育つ^{そだ}のですが、日本^{にほん}に古^{ふる}くからある「日本たんぽぽ」はあまり人^{ひと}の手^てが加^{くわ}えられていない土^{つち}でよく育つ^{そだ}ため、日本たんぽぽの姿^{すがた}は少^{すく}なくなっています。

そのため、日本^{にほん}たんぽぽが「あるか・ないか」で、自然^{しぜん}が残^{のこ}っているかどうかの目安^{めやす}にもなります。



セイヨウタンポポ（写真左）は、花の下の「総ぼう」がそりかえっています。日本のたんぽぽ（写真右）は「総ぼう」がスッキリしています。